

平成30年度
事業報告書
収支決算書

令和元年5月30日(木)

栗原市農泊推進協議会

～ 目 次 ～

I 事業報告	2
1 目的	2
2 事業概要	2
3 実施体制	2
4 実施事業	3
(1)体験型コンテンツ開発	3
(2)人材育成	5
(3)調査	6
(4)PR	6
(5)旅行商品造成	6
(6)受入体制・仕組みの構築	6
(7)推進会議	7
(8)地域おこし協力隊	7
II 収支決算	8
1 収入の部	8
3 支出の部	8
【参考】農山漁村振興交付金 収支決算報告	9

I 事業報告

1 目的

(1) テーマ

- 体験プログラムを主体とした観光コンテンツの創出と新たな宿泊等事業者の育成
- 体験プログラムと宿泊との連携による旅行商品を造成し、新たな観光の需要を喚起
- 業界団体の持続的な運営体制の確立

(2) 概要

体験プログラム等のコンテンツ開発を主体に取り組み、体験と宿泊を組み合わせた旅行商品造成を目指す。これまで中核団体が農林業や食文化、モノづくり、自然観察等の体験プログラムを100種類以上開発し実践しているが、季節に偏りがあるため夏季のコンテンツ開発を重点的に取りくむ。また、農家が主体的に取り組む「ファームツーリズム」を創出し、農産物を活用したBBQプログラムの開発とファームガイドとサイクルガイドの養成に取り組む。

宿泊の許可形態はあらゆる可能性を調査研究しながら、既存宿泊施設の体験プログラム等を活用した取組みと新たな宿泊実践者を育成・支援する取組みとする。

農泊を運営する各事業体の持続的な経営に寄与する仕組みづくりを目指す。

主たる財源として、農林水産省の「平成30年度農山漁村振興交付金（農泊事業）」を活用する。

2 事業概要

- (1) 体験型コンテンツ開発…体験プログラム創出(30種類以上)、ファームツーリズム創出
- (2) 人材育成…宿泊実践者向けの研修会実施、サイクルガイド養成
- (3) 調査…市場調査、先進事例、類似事例の調査
- (4) PR…ウェブサイト、SNS、メディアリレーションを活用したPRの実施 等
- (5) 旅行商品造成…体験型コンテンツと宿泊を組み合わせた旅行商品造成とモニタリング調査
- (6) 受入体制…役割分担と収益ポイント整理、業界の細分化による機能性向上、マネタイズ検討
- (7) 推進会議…構成団体による定期的な会議、連携機関等を含めた戦略会議の実施
- (8) その他…農山漁村振興交付金以外の取組み、地域おこし協力隊の活用 等

3 実施体制

- ①一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク
 - ・中核団体(事務局) ・体験プログラム ・宿泊 ・人材育成 ・食事提供
- ②一般社団法人栗原市観光物産協会
 - ・地域団体 ・旅行会社 ・旅行商品造成 ・広報 ・ガイド養成 ・食事 ・宿泊
- ③くりはらファーマーズプロジェクト
 - ・地域団体 ・ファームツーリズム推進(コンテンツ開発) ・食材
- ④栗原市
 - ・行政 ・事業推進(行政施策との連携) ・支援

4 実施事業

(1)体験型コンテンツ開発

○35種類の体験プログラムを創出 ○参加者数:328人

①くりはら博覧会“らいん”2018

・開催日:平成30年8月27日(月)～9月25日(火) ・体験プログラム数:21回実施

・参加者数:190人

No.	事業名	実施日	人数
1	藁文化ワークショップ「ミニミニほうき」①	8月27日(月)	4
2	藁文化ワークショップ「ミニミニほうき」②	9月9日(日)	7
3	野菜料理教室「夏野菜でおもてなし」	8月28日(火)	5
4	郷土食を手づくり「しそ巻き」	8月29日(水)	13
5	暮らしの手作り教室「ズッキーニケーキ」	8月30日(木)	10
6	プランターでキノコ栽培「おうちでハタケシメジ」	8月31日(金)	8
7	郷土食を手づくり「青じそ漬けとしそおにぎり」	9月1日(土)	12
8	栗原の粉食文化「はつとう」	9月3日(月)	8
9	和食の料理人から学ぶ「じゃがいもまんじゅう」	9月4日(火)	11
10	花山産そば粉100%「そばカステラ作り」	9月5日(水)	6
11	暮らしの手作り教室「ブルーベリームース」	9月7日(金)	12
12	藁文化ワークショップ「釜台(鍋敷き)」	9月9日(日)	4
13	生芋から作る「コンニャク作り」	9月10日(月)	7
14	地元食の博覧会「地産地消ビュッフェ」	9月11日(火)	31
15	350℃の石窯で焼く「ピザ作り体験」	9月13日(木)	4
16	暮らしの手作り教室「野菜グラタンパン」	9月14日(金)	12
17	若手農家と走る「農村サイクリング」	9月18日(火)	4
18	打ち方、ゆで方、つゆ作り「本格そば打ち体験」	9月19日(水)	6
19	世界に一つだけの作品作り「陶芸教室」①	9月23日(日)	7
20	世界に一つだけの作品作り「陶芸教室」②	9月24日(月)	10
21	世界に一つだけの作品作り「陶芸教室」③	9月25日(火)	9
計			190

②くりはら博覧会“らいん”2018 冬

- ・開催日:平成30年11月15日(木)～12月25日(火) ・体験プログラム数:16回実施
- ・参加者数:138人

No.	事業名	実施日	人数
1	伊豆沼・内沼を一周「農村サイクリング」①	11月15日(木)	2
2	伊豆沼・内沼を一周「農村サイクリング」②	11月21日(水)	2
3	暮らしの手作り教室「りんごのマフィン」	11月16日(金)	10
4	ツル細工入門「編みかご作り」	11月17日(土)	12
5	有壁宿探訪「奥州街道ウォーキング」	11月18日(日)	13
6	野菜料理教室「伊豆沼れんこん」	11月20日(火)	5
7	地元をおいしく歩こう「ノルある部(花山本沢編)」	11月22日(水)	7
8	保存食の作り方と食べ方「ジャバラ切り干し大根」	11月29日(木)	10
9	チクチクと針仕事「つるし雛(五つ花)」	12月1日(土)	9
10	和食の料理人に学ぶ「おもてなしの茶碗蒸し」	12月3日(日)	8
11	暮らしの手作り教室「野菜のキッシュ」	12月6日(木)	12
12	麦わらオーナメント「ストロースター」①	12月13日(木)	7
13	麦わらオーナメント「ストロースター」②	12月21日(金)	3
14	暮らしの手作り教室「メロンパン」	12月14日(金)	14
15	藁文化ワークショップ「しめ飾り」①	12月22日(土)	11
16	藁文化ワークショップ「しめ飾り」②	12月23日(日)	8
17	藁文化ワークショップ「しめ飾り」④	12月25日(火)	7
計			138

(2)人材育成

①旅トーク

○Vol.1「旅するように、生きること」

- ・日時:平成30年10月22日(月)10:00~12:00 会場:JRくりこま高原駅 観光案内所
- ・ゲスト:自転車旅人 西川昌徳 参加者:22人

○Vol.2「心に響く音の旅」

- ・日時:平成30年11月20日(木)18:00~19:30 会場:JRくりこま高原駅 観光案内所
- ・ゲスト:ハンドパン奏者 柏ハング 参加者:25人

②開業支援講座

・期間:平成31年1月25日(金)~3月22日(金) ・回数:5回 ・受講者数:9人

回	日時	講師	内容
1	1月25日(金) 10:00~12:00	(一社)くりはらツーリズムネットワーク 事務局長 大場寿樹	オリエンテーション、講話「市内の飲食宿泊事業者の開業事例」
2	2月 8日(金) 10:00~12:00	栗原保健所 食品薬事班 技術主幹 八島由美子 技師 椎名麻衣	飲食・宿泊の制度の説明(栗原保健所から制度の説明)
3	2月22日(金) 10:00~12:00	てから～焼菓子と料理の店～ 高橋幸代	飲食店の開業事例の視察(栗原市内)
4	3月 8日(金) 9:30~18:00	Hutte Momo ~ヒュッテ・モモ~ 早川 真理	宿泊施設の開業事例の視察(丸森町)
5	3月22日(金) 10:00~14:00	民泊やまざき 小野寺恵子 有賀の里たかまったく 千葉静子	宿泊施設の開業事例の視察(栗原市内)

③応急手当講習(メディックファーストエイドベーシックプラス)

- ・日時:平成31年3月13日(水)9:00~17:30 場所:くりはらツーリズムネットワーク事務所
- ・講師:くりこま高原自然学校 校長 塚原 俊也 受講者数:12人

④ビューティーフード勉強会 ※農山漁村振興交付金対象外

- ・日時:平成31年1月26日(土)17:30~21:00 場所:会席料理 丸勝
- ・内容:ビューティーフードについての講演、マクロビメニューの料理教室、意見交換 等
- ・講師:モデル・ビューティーフード研究家 室谷真由美 参加者:20人

⑤その他(研修参加)

- ・インバウンド関連の研修事業に1名が参加(計3回)

(3)調査

①先進地視察研修

- ・期間:平成31年3月21日(木)～22日(金)
- ・視察先:青森県
- ・視察内容:青森県のサイクルツーリズム、民泊の運用状況
- ・参加者:2人

②サイクリングコース調査

- ・期間:平成31年3月25日(月)～29日(金)
- ・調査先:栗原市内のサイクリングコース調査
- ・調査者:有限会社ディメンション 樋口博一

(4)PR

①自転車試乗会

○結市

- ・日時:平成30年10月6日(土)10:00～16:30
- ・場所:伊豆沼交流センター
- ・内容:電動アシストMTB(E-Bike)の試乗
- ・参加者:10人

○いちはさま第2回軒下マルシェ

- ・日時:平成31年2月3日(日)10:00～17:00
- ・場所:会席料理 丸勝
- ・内容:電動アシストMTB(E-Bike)の試乗
- ・参加者:32人

②協議会の構成団体のウェブサイト、SNS等を活用したPRを実施

(5)旅行商品造成

①ファーミードリンクツアーin栗原 ※農山漁村振興交付金対象外

- ・日時:平成30年9月20日(木)～21日(金)
- ・場所:栗原市、登米市
- ・参加者:40人
- ・内容:細倉マインパーク見学、農場見学、サイクリング(細倉、伊豆沼)、ファーマーズBBQ 等

②伊豆沼体験ツアー

- ・日時:平成30年11月7日(水)～8日(木)
- ・場所:栗原市内
- ・参加者:5人
- ・内容:民泊やまざき宿泊、マガノの飛び立ち観察、藁細工体験、農家民宿での昼食

③白銀の栗駒山麓 美味しいスノーシュートレッキング ※農山漁村振興交付金対象外

- ・日時:平成30年1月26日(土)9:30～16:30
- ・場所:ハイルザーム栗駒
- ・参加者:17人
- ・内容:スノーシュートレッキング、E-Bike 試乗 等

(6)受入体制・仕組みの構築

受入体制、仕組みの構築のために、旅行商品の造成内容、役割分担、収益性等について、運営回答等で検討。

(7)推進会議

①運営会議(役員会)

- ・実施日:平成30年10月23日(火)、平成31年1月24日(木)、平成31年2月12日(火)、
平成31年3月15日(金)、平成31年3月29日(金)
- ・実施数:5回 　・内容:事業の実施状況、執行状況、事業計画 等

②戦略会議(関係機関)

- ・日時:平成30年10月31日(水) 10:00～11:30 　・場所:この花さくや姫プラザ
- ・出席者:11機関20人 　・内容:農泊事業の説明、意見交換 等

③平成30年度総会

- ・日時:平成31年2月12日(火)10:00～11:30 　・場所:くりこま高原駅
- ・出席者:9人 　・内容:規約の制定、役員の選出、事業計画、収支予算

(8)地域おこし協力隊

栗原市農泊推進業務を担う隊員2名を栗原市で募集中。

○活動内容

- ・農山村ならではの観光資源の発掘・磨き上げ・開発
- ・農村体験プログラム等をコーディネートし、旅行商品造成
- ・宿泊可能住家等の調査・発掘・育成支援 　・農泊の取組みを国内外にプロモーション
- ・そのほか、地域に農泊を広め、ビジネスとして成り立たせるために必要な取組み
- ・栗原市農泊推進協議会(事務所:くりはらツーリズムネットワークに所属しながら活動

○任用期間 2019年(令和元年)10月1日任用(委嘱)予定 最長3年を限度として毎年度更新

○雇用関係・待遇等

- ・報償額:月額 190,000 円
- ・栗原市職員の就業時間を参考とし、月曜日から金曜日までの週5日、午前8時30分から午後5時15分まで(1日:7時間45分、週:38時間45分)
- ・業務に応じて夜間、土曜日、日曜日や祝祭日に活動する場合は、活動時間の振替で調整
- ・国民健康保険、国民年金は各自で加入。任用期間中における傷害保険は栗原市が手続き
- ・栗原市職員の例により、住居にかかる費用を補助(上限 27,000 円)
- ・活動に使用する車両は栗原市が貸与
- ・活動に関連する出張や研修等への参加に伴う旅費は、栗原市職員の例により栗原市が支給
- ・その他活動に要する経費等は予算の範囲内で栗原市が負担(支給)

○応募資格要件

- ・年齢が20歳以上50歳未満の方(2019年(令和元年)10月1日現在)で性別不問
- ・心身ともに健康で、誠実に活動できる方。
- ・応募時点で、三大都市圏または地方都市等(過疎、山村、離島、半島等などの条件不利区域に該当しない市町村)に在住の方
- ・採用後、栗原市に住民票を移し、起業・継業を視野に定住する意欲のある方。

II 収支決算

収入の部	7,793,424円
支出の部	7,793,424円
差引残金	0円

1 収入の部

(単位:円)

No.	区分	予算	決算	差引	摘要
1	交付金	0	3,160,156	3,160,156	概算払(第3四半期まで) ※残金は平成31年5月交付
2	負担金	0	2,000	2,000	くりツ一より
3	事業収入	0	272,080	272,080	ピューティーフード勉強会開催 費用
4	借入金	10,500,000	4,359,188	△6,140,812	観物 400万円、 くりツー-359,188円
5	雑入	0	0	0	
計		10,500,000	7,793,424	△2,706,576	

※交付金=農山漁村振興交付金(農泊事業)

2 支出の部

(単位:円)

No.	区分	予算	決算	交付金対象	差引	摘要
1	人件費	6,404,100	4,881,949	4,881,949	△1,522,151	
	(1)報酬	5,850,624	3,746,346	3,746,346	△2,104,278	職員給与
	(2)共済費等	553,476	1,135,603	1,135,603	582,127	社会保険料等
2	需用費	1,104,900	1,384,994	1,384,994	280,094	消耗品、印刷 製本費
3	使用料・賃借料	1,920,000	653,294	653,294	△1,266,706	自転車リース等
4	報償費	480,000	717,560	445,480	237,560	人材育成等講 師謝礼
5	役務費	171,000	78,604	78,604	△92,396	通信運搬費
6	旅費	360,000	75,023	75,023	△284,977	視察、人材育 成等
7	委託料	300,000	0	0	△300,000	
8	租税公課費	0	2,000	0	2,000	収入印紙
9	借入金返済	0	0	0	0	
10	雑費	0	0	0	0	
		10,740,000	7,793,424	7,519,344	△2,946,576	

※借入金 4,359,188円については、交付金の精算払いが令和元年5月に農林水産省から交付された後に返済(令和元年度会計での支出)。

※借入に要する費用(借入利息・収入印紙・手数料)は、(一社)くりはらツーリズムネットワークが負担金として栗原市農泊推進協議会に払出、その負担金をもって充てる。

【参考】農山漁村振興交付金 収支決算報告

収入の部

項目	(予算額) 決算額	内 容
国庫補助金	(10,500,000) 7,519,344	農山漁村振興交付金
自己資金	(0) 274,080	
合 計	(10,500,000) 7,793,424	

支出の部

項目	(予算額) 決算額	内 容
1 農泊推進事業		
(1)体験型コンテンツ開発	(6,515,000) 6,697,886	需用費、役務費、使用料及び賃借料、報酬、共済費
(2)人材育成	(556,000) 314,125	報償費、旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料
(3)調査	(619,000) 378,589	報償費、旅費、需用費、使用料及び賃借料
(4)PR	(119,000) 58,860	需用費
(5)旅行商品造成	(59,000) 8,978	需用費
(6)受入体制・仕組みの構築	(59,000) 39,420	需用費
(7)推進会議	(73,000) 21,486	役務費、需用費
2 人材活用事業		
(1)専門家による相談事業	(540,000) 0	旅費、使用料及び賃借料、需用費、委託料
(2)専門員の雇用	(1,960,000) 0	人件費
3 交付金対象外経費	(0) 274,080	租税公課費、報償費
合 計	(10,500,000) 7,793,424	

平成30年度
事業報告書
収支決算書

栗原市農泊推進協議会

(事務局) 一般社団法人くりはらツーリズムネットワーク
〒989-5504 宮城県栗原市若柳上畠岡敷味 45 番地
Tel. 090-4889-5310 Email kurihara.tn@gmail.com